

# JR土佐山田駅周辺まちづくり基本構想

## 【概要版】

令和8年3月

香美市建設課

## 目 次

1. JR土佐山田駅周辺まちづくり基本構想策定の目的 .....	1
2. 計画対象範囲 .....	2
3. 対象地区の現況 .....	3
4. 市民等意向調査 .....	4
5. まちづくりのコンセプトと基本方針 .....	8
6. ゾーニング・ネットワーク.....	10
7. 基本構想施設内容・規模等.....	11
8. 基本構想図.....	18
9. イメージパース.....	22

## 1. JR土佐山田駅周辺まちづくり基本構想策定の目的

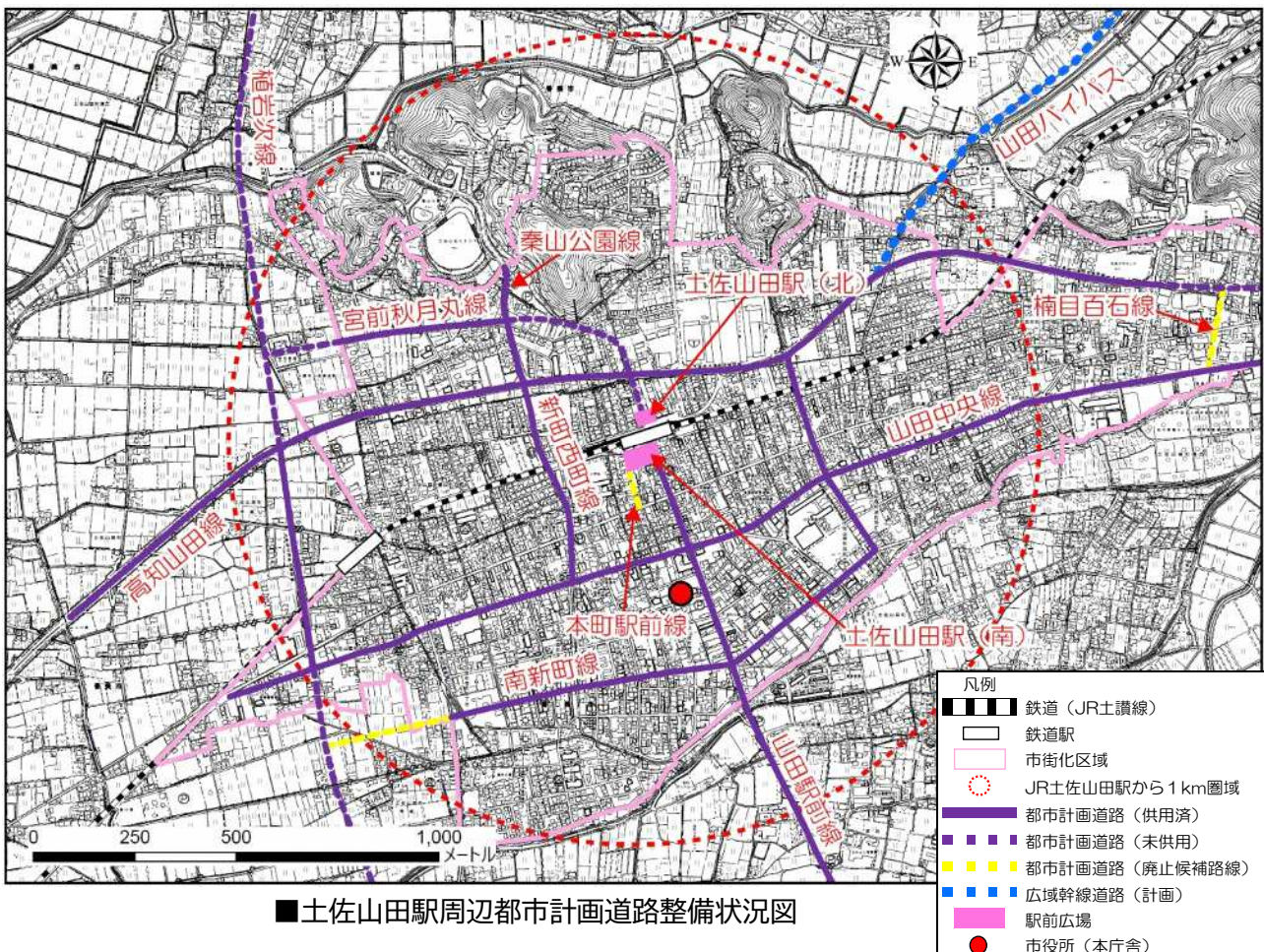
香美市の中心部に位置するJR土佐山田駅周辺では、日常生活での鉄道利用に加え、特急列車が停車することから、アンパンマンミュージアムなどへの観光客が乗降しています。また、改札口が面する南駅前広場は、市内のバス路線のハブともなっているほか、タクシーや鉄道利用者の送迎者の乗降・待機にも利用されています。

一方、駅周辺では、北駅前広場や駅北側の国道バイパスからのアクセス経路、線路の南北を結ぶ歩行者動線等が整備されておらず、駅構内のバリアフリー化や待合機能の充実等と合わせた利便性の向上が必要です。また、商店街の再生による中心市街地の活性化との連携も求められています。

このため、南・北駅前広場や駅南北自由通路の具体的な配置・機能などを検討するとともに、駅と駅周辺に求められる機能と整備方を整理し、これに基づく都市計画施設の再整理を行うことを目的とします。



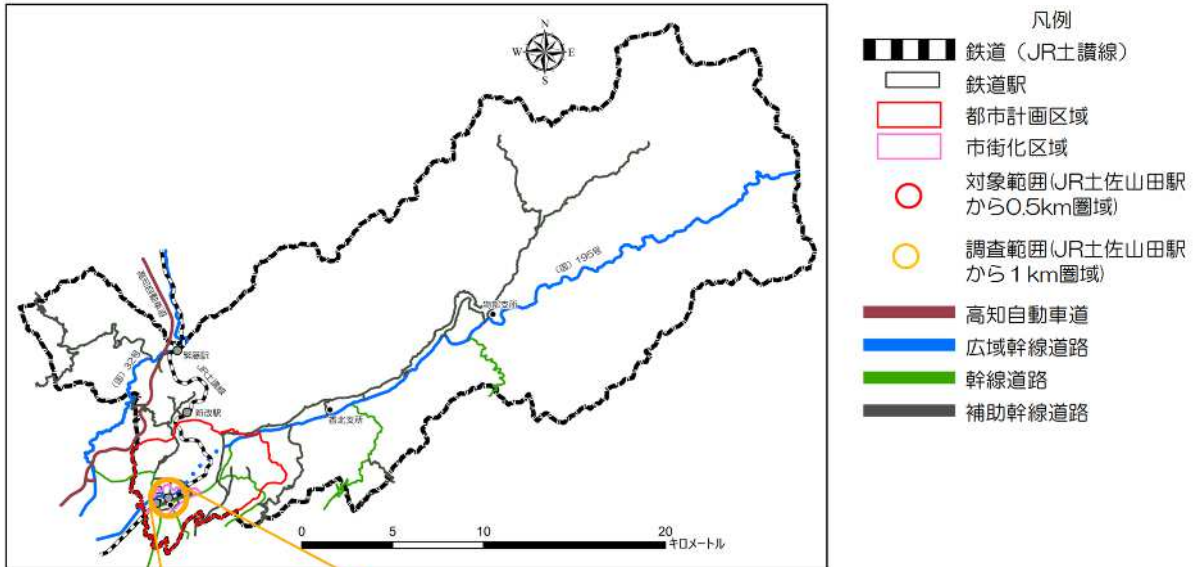
■JR土佐山田駅・南駅前広場



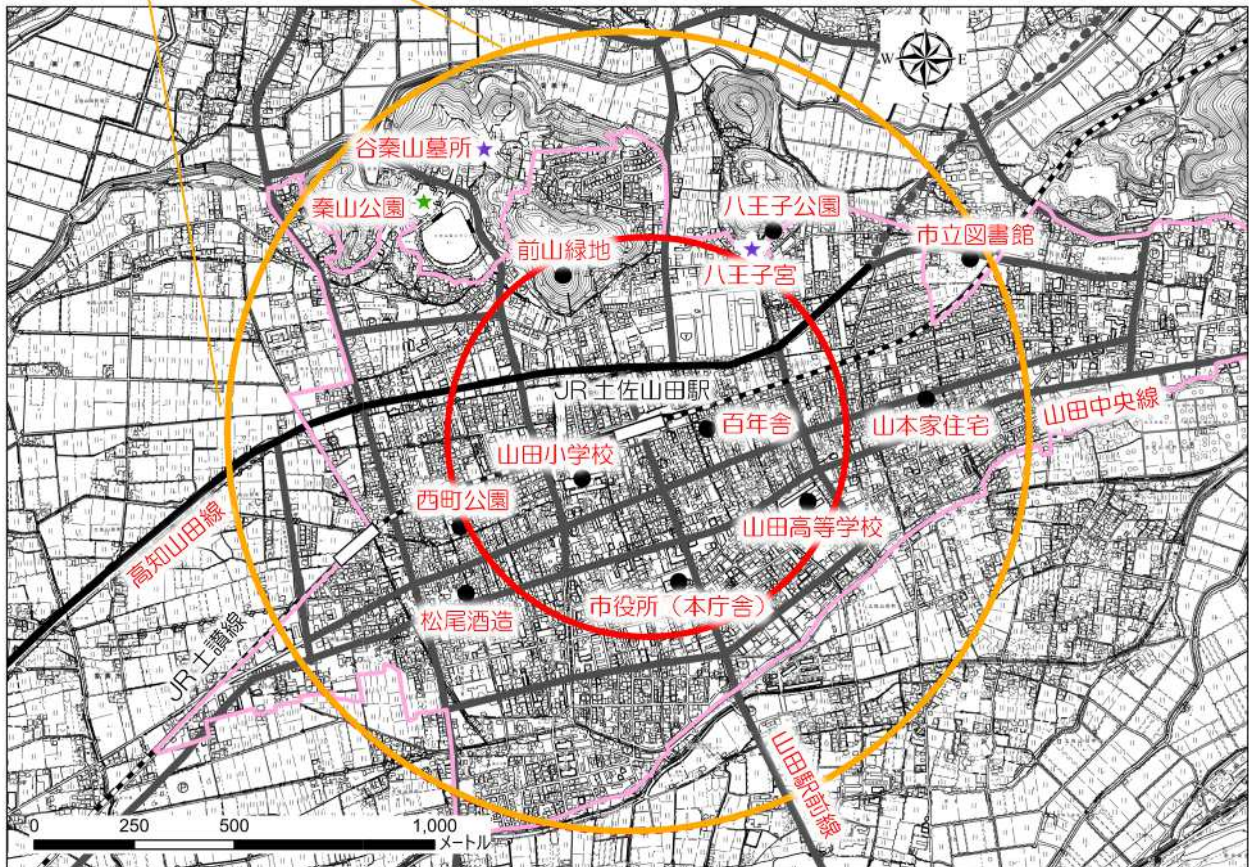
■土佐山田駅周辺都市計画道路整備状況図

## 2. 計画対象範囲

基本構想策定の対象範囲としては、JR土佐山田駅を中心とし、高齢者を含めた一般的な徒歩圏である半径0.5km圏域を基本とします。



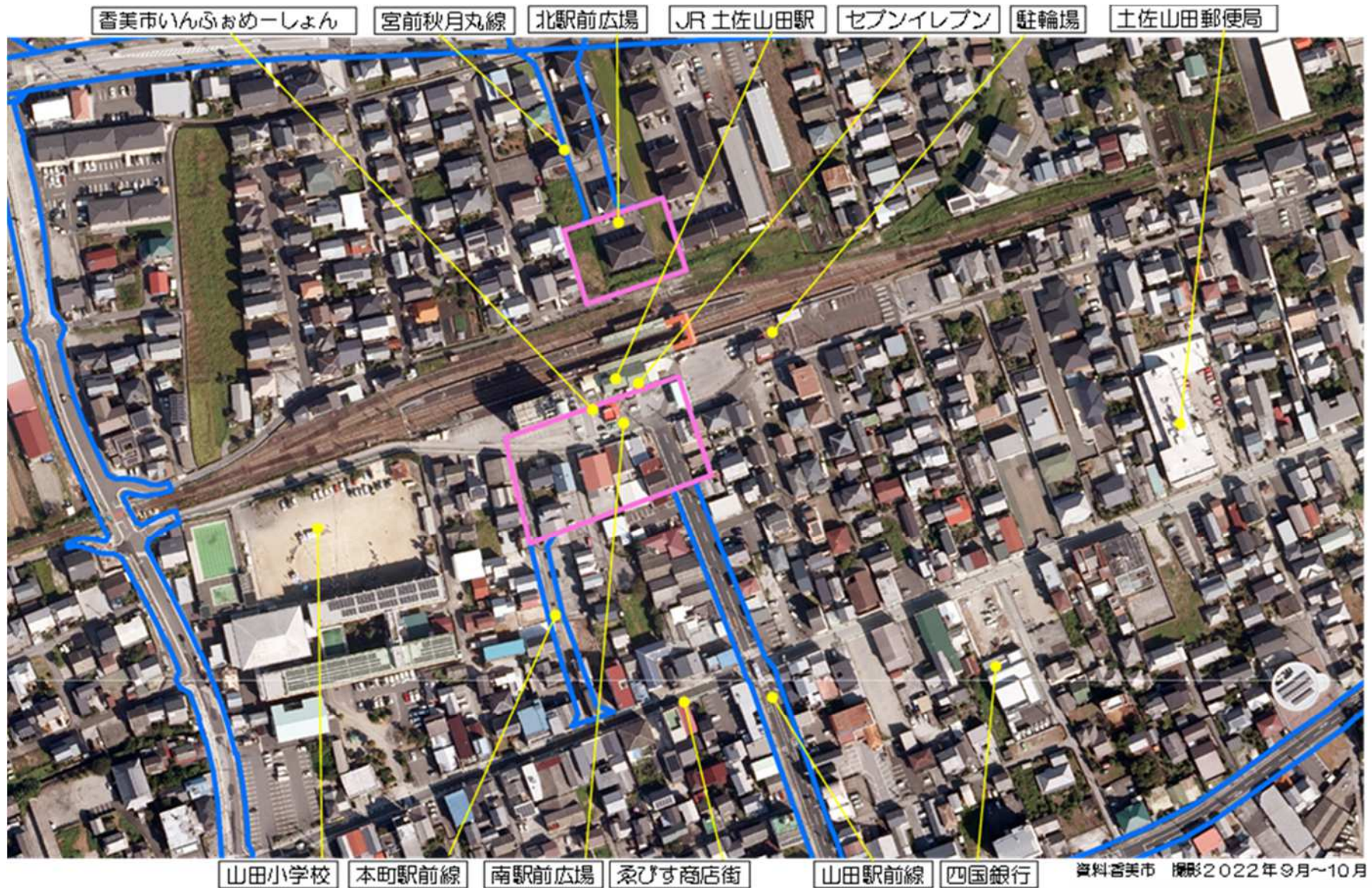
■ 位置図



■ 基本構想策定対象範囲・調査範囲

### 3. 対象地区の現況

3



■JR 土佐山田駅周辺（現況写真）

資料香美市 撮影2022年9月~10月

## 4. 市民等意向調査

本構想の策定にあたり市民や高知工科大学学生、山田高校生、市内企業従事者を対象にアンケートを実施し、駅周辺等の課題や期待される機能や施設について、意見の把握を行いました。また、市民を対象としたワークショップを開催し、駅周辺の「望ましいまちの姿」などについて考えていただきました。

また、交通事業者や自治会、商店街へのヒアリングを行い、利用状況やどのようなことを期待しているか等の把握を行いました。

### 1) アンケート結果(最も多い内容とその割合)

主な調査項目	市民回答	高知工科大学学生回答	山田高校生回答	市内企業従事者回答
JR土佐山田駅の利用状況	「ほとんど利用しない」 75.6%	「ほとんど利用しない」 39.5%	「ほとんど利用しない」 60.5%	「ほとんど利用しない」 65.4%
駅周辺の問題点・課題	「ホーム間の跨線橋にエレベーターがない」 53.8%	「列車の本数が少なくて不便」 76.8%	「列車の本数が少なくて不便」 52.6%	「線路の南北を結ぶ自由通路がない」 65.4%
駅南駅前広場の問題点・課題	「駐車場が少ない」 60.8%	「バス便が少なくて不便」 66.8%	「駐輪場が少ない」 23.7%	「駐車場が少ない」 61.5%
土佐山田駅周辺地区の問題点・課題	「まちに活気がない」 68.6%	「街灯が少なく、夜暗い」 67.5%	「街灯が少なく、夜暗い」 30.3%	「まちに活気がない」 67.3%
駅周辺に今後求められる機能	「観光情報の掲示、案内板」 47.1%	「線路の南北を結ぶ徒歩自由通路」 38.4%	「駅の中の待合室」 「駅の中の売店」 22.4%	「ホーム間の跨線橋のエレベーター」 50.0%
南駅前広場で今後求められる機能や施設	「歩道と車道を分離する」 44.8%	「歩道と車道を分離する」 49.4%	「歩道と車道を分離する」 25.0%	「トイレを新設する」 55.8%
北駅前広場で今後求められる機能や施設	「あけぼの街道から駅北側にアクセスする道路と駅前広場を整備する」 46.2%	「あけぼの街道から駅北側にアクセスする道路と駅前広場を整備する」 44.3%	「トイレを新設する」 21.1%	「あけぼの街道から駅北側にアクセスする道路と駅前広場を整備する」 48.1%
土佐山田駅周辺地区で今後求められる機能や施設	「空き地や空き家を活用する」 56.2%	「街灯を設置する」 62.7%	「街灯を設置する」 35.5%	「ホテル・宿泊施設を誘致する」 53.8%

## 2)ワークショップの内容

### ■土佐山田駅周辺の「望ましいまちの姿」

班	ワークショップから導き出されるまちづくりの方向性
A班	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 暮らしている人も訪れる人も誰もが安全に安心して楽しめるまち</li> <li>● 賑やかで歩きたくなるようなまち</li> </ul>
B班	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 香美市の情報が気軽に入手できるまち</li> <li>● 学生や子どもがいるまち</li> <li>● 便利で利用しやすい交通結節点があるまち</li> <li>● 人々が容易に集えるまち</li> <li>● 駅前やまちがにぎわっているまち</li> </ul>
C班	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 列車やバスなどを待つ所が無く、居ること自体が苦痛になる今の駅前を解消し、居心地の良い空間があり、素通りすることのないようなまちづくり</li> </ul>

### ■「望ましいまちの姿」を実現する具体的な導入機能、施設や駅周辺での活動、時間の過ごし方

班	ワークショップから導き出されるまちづくりの方向性
A班	<p>【駅周辺エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光客、受験生、住民の知人等が利用できるホテル。</li> <li>● 観光客や住民がJRを利用するためのパーク&amp;ライドや周辺を歩いて周遊するために利用する駐車場。</li> <li>● 駅南側をロータリー（送迎のためのキス&amp;ライド）、駅北側を駐車場（JR利用のためのパーク&amp;ライド）。</li> </ul> <p>【商店街エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 古民家、空家を活用した小規模な宿泊施設。</li> <li>● 空き店舗を活用した新たなお店、高齢者が集まる場所、コーヒーが飲める場所。</li> <li>● 学生の空き時間に勉強、話し合いがきるスペース。</li> <li>● 大井戸（2箇所）などの歴史的施設などを活用し、歩いて見学に来られるように周知、整備。</li> </ul>
B班	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 香美市の情報が集まる場所を作る（電光掲示板、市の取組が分かる場所など）。</li> <li>● 買い物やお土産を買うことができる（駅ビル）。</li> <li>● 市民や観光客が過ごせる場所を整理する（待合場所・おしゃべりができる場所・学習場所）。</li> <li>● 交通結節点としての機能強化（高速バス、バス待合施設）。</li> <li>● 便利な場所づくり（Wi-Fi整備、図書館の本返却ポスト）。</li> </ul>
C班	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習スペースや待合施設の整備により、列車などの待ち時間に学生が学習をしたり、駅利用者が気軽に充実した時間を過ごせる場所づくりを行う。</li> <li>● フリースペースの設置により、高齢者を含む地域の人々が談笑できる居心地の良い空間や地元のお土産の販売、観光客などへの接待を通じ来訪者や地元住民が楽しめる空間づくりを行う。</li> </ul>

### 3)ヒアリング結果

ヒアリング先	主な意見
とさでん交通株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転手不足で今後バス路線の縮小や撤退の可能性がある。</li> <li>● 大学生利用が主だがバスの大型化は予定していない。</li> <li>● 高速バス、空港連絡線の運行は考えていない。</li> <li>● 現南駅前広場は切り換えしが必要で狭い。</li> <li>● トイレの軒にバスが当たるので改善を要望。</li> <li>● 安全性から歩車分離が必要。</li> <li>● 歩道に段差をつけても、車椅子の利用に支障はない。</li> <li>● 駅前広場で待機時、JR四国バス、香美市バスと輻輳する。等</li> </ul>
四国旅客鉄道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元自治体に駅の活用を呼び掛けている。</li> <li>● 駅舎は耐震化または建替えが必要。</li> <li>● 現在、駅舎の建て替えは考えていない。</li> <li>● 行政の単独広場もしくは行政JRの協定駅前広場が妥当。</li> <li>● 協定駅前広場では高速バスの乗入れは通常認めていない。</li> <li>● 北口にも駐輪場整備が必要。</li> <li>● 施設整備時の売店規模は売店事業者の判断による。</li> <li>● コワーキングスペースの需要が見込まれる。</li> <li>● 南北連絡自由通路と改札口を接続することは現状不可能。等</li> <li>● 南北連絡自由通路+橋上駅舎化であれば接続も可能。</li> </ul>
株式会社第二さくら交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「やまださくら号」は令和7年3月から香北観光が運行。</li> <li>● 「やまださくら号」は75歳以上の利用がメイン。</li> <li>● 駅で降りる方は駅を基点に病院に行くことが多い。</li> <li>● 観光客や高齢者のために駅にエレベーターが必要。</li> <li>● 雨天の際、バス待ち客が駅のホームの中まで並んでいる。等</li> </ul>
宮前町西部班自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 送迎の際に、駐車場がいっぱいで待つ場所がない。</li> <li>● 人が集まれる場所や子どもが遊べる広場が必要である。</li> <li>● 歩行者、自転車が通れる南北連絡自由通路が必要。等</li> </ul>
ジェイアール四国バス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運行ダイヤは高知工科大学の意見と調整。</li> <li>● 土佐山田駅で高速バスの要望があるが四国で実績はない。</li> <li>● アンパンマンミュージアムへの需要が多い。</li> <li>● 雨の日の一般車送迎が多くバスロータリーと区別が必要。</li> <li>● バスがトイレの屋根に当たることがある。</li> <li>● バス、タクシーの兼用のロータリーが必要。</li> <li>● 待合やATMがあれば利便性が高まる。</li> <li>● 公共施設を駅に集約したら人が集まる。等</li> </ul>
西本町1丁目自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 夜の学生の送迎車のスペース確保が必要。</li> <li>● 宿泊用のホテルがなくて不便。</li> <li>● 以前はバスで駅に来て寄りす商店街で買い物が多かった。</li> <li>● スーパーマーケットが商店街になくなってから、商店街は弱くなってきた。等</li> <li>● 「いんぷいおめーしょん」付近で、観光客を見かける。</li> </ul>

ヒアリング先	主な意見
糸びす協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 商店街のイベントでは駅前も使っている。</li> <li>● 「糸びす昭和横丁」を毎年9月に開催。</li> <li>● 駅構内の跨線橋でパネル展（ミュージアム）を実施。</li> <li>● 高齢者だけではなくベビーカーもバリアフリー対応。</li> <li>● 雨天時の送迎スペースが必要。</li> <li>● 街のインフォメーションのわかりやすい再編が必要。</li> <li>● 龍河洞のモニュメントが老朽化している。</li> <li>● 人口集積方向から駅北側のロータリーは非常に重要。</li> <li>● アンパンマン時計等のモニュメントが必要。</li> <li>● 災害時の物資配給のための広場整備も想定される。</li> <li>● 土日祝日に商売ができるようなフリースペースがあれば、街の賑わいにつながる。</li> <li>● 若者の勉強する場所がない。</li> <li>● 駅にロッカーを含めた待合いを充実。</li> <li>● コンビニを広くして、イトインで待合ができる。</li> <li>● 観光協会を駅舎に移転してほしい。</li> <li>● 南北連絡自由通路とエレベーターの設置が必要。等</li> <li>● 若者を巻き込む文化コミュニティ交流機能が必要。</li> <li>● 既存のアンパンマンを、駅を中心にしながら発信。</li> </ul>
東本町旭町1丁目自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホームの跨線橋を渡るのが非常に大変。</li> <li>● 雨天時の18～19時に送迎車が渋滞している。</li> <li>● 緑のある場所、東屋やベンチが必要。</li> <li>● 図書館をまちなかに配置してほしい。</li> <li>● 雨天時の十分な待合スペースの確保が必要。</li> <li>● 南北連絡自由通路があれば南北の連携が発生する。等</li> </ul>



ワークショップの様子

## 5. まちづくりのコンセプトと基本方針

市内の現況や上位関連計画、市民アンケート、ワークショップなどの内容をふまえ、土佐山田駅周辺地区のまちづくりのコンセプトと基本方針を以下のとおり設定しました。

### 1) まちづくりのコンセプト

～誰もが便利で居ごこちの良い「駅まち空間」づくり～

### 2) まちづくりの基本方針

#### ■ 便利で快適な公共交通利用環境の実現

鉄道やバスの乗り継ぎ、時間待ち、送迎や待ち合わせなど、少しの空き時間を有効に安心して利用できる待合機能の整備により、安全・快適で利用しやすい交通環境をつくります。

駅を利用する学生や観光客、ビジネスマンが移動の時間待ちに活用できる立寄りスペースを付加することにより、利便性の向上を図るとともに、交通結節点としての立地を活用し、マルシェやイベント、地域の交流会など滞留や交流を伴う活動を誘発し、まちのにぎわいの創出や活力の向上を図ります。

待合スペース等を活用し、観光やまちの情報がワンストップで得られるインフォメーション機能を強化します。

#### ■ 駅南北エリアの連携と交通結節機能強化

駅南北の市街地をつなぎ、人の流れを円滑にし、駅南北の市街地の連携を図ることにより、駅周辺地区の利便性を高めるとともに、駅南北の移動の安全性を確保します。

様々な交通機関が集まる現在の狭小で車中心の南駅前広場から、歩行者と車の分離とあわせ、車の動線や歩行者の流れを明確にし、交通動線を整序することにより、安全で利便性が高く、快適でゆとりのある交通結節拠点へと転換します。

新たな北駅前広場の整備により、駅北地区の駅利用環境の向上と将来の市北東部方面からの駅の利用に備えます。

#### ■ アクセス機能の強化

駅前広場につながる幹線道路の整備や改修により、駅及び駅周辺地区へのアクセスを強化します。

駐車場の整備や駐輪場の改修により、公共交通への乗り継ぎの円滑化を図ります。

バス路線の追加や新たな自動運転車両の導入によるアクセス性の向上を促進します。

## ■ 生活利便施設の立地

人口減少や少子・超高齢社会が進展する中で、生活利便施設等の適正な立地により、生活に必要な各種サービスの効率的で持続的な提供が図られ、安心して快適な暮らしが送れるようにするため、医療・福祉、子育て支援、商業、金融機関などの都市機能（施設）を周辺地域からもアクセスしやすく交通利便性の高い駅周辺地区に誘導、集積することとします。

これにより、高齢者や子育て世代をはじめ、誰もが便利で気軽に生活利便施設が利用できる健康で魅力的なまちを実現します。

生活利便施設については、地域特性や施設の特性・立地状況、上位関連計画における施策の方向性などを考慮しながら、維持すべき既存施設を含め、医療施設など駅周辺地区での社会的な要請が高い施設の立地を検討します。

## ■ 既存商店街との連携強化

駅北エリアから糸びす商店街への人の流れをつくります。

駅前広場周辺の人々の集積や待合施設における人々の活動を商店街に取り込みます。

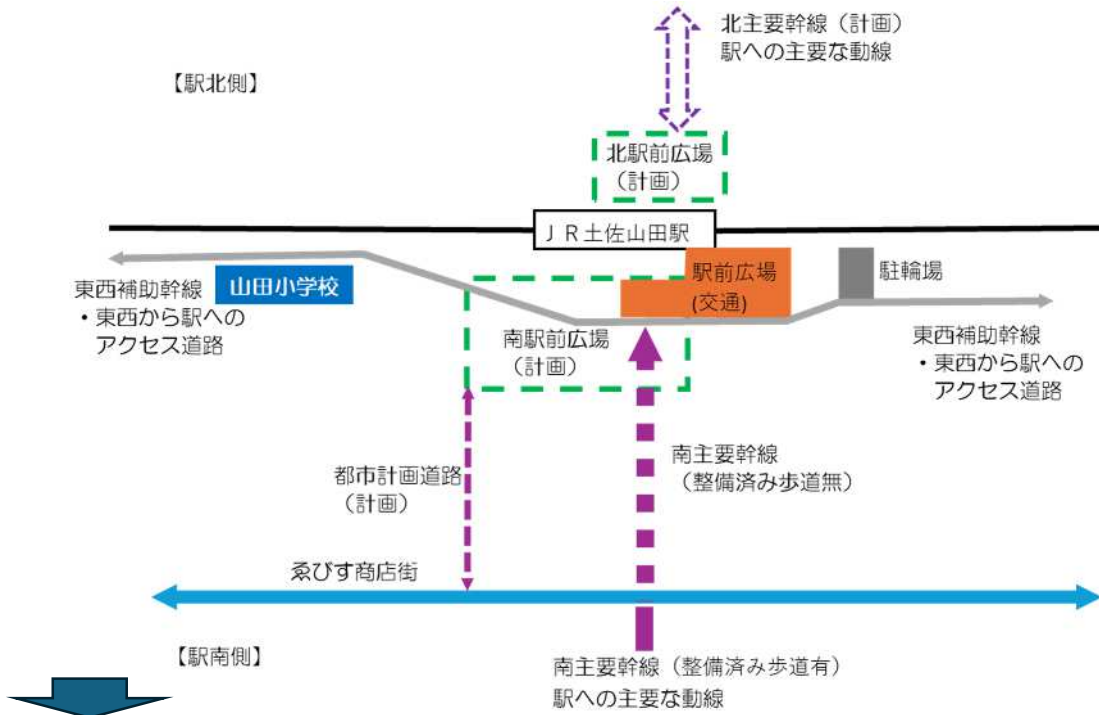


糸びす商店街（山田駅前線交点より西方向）

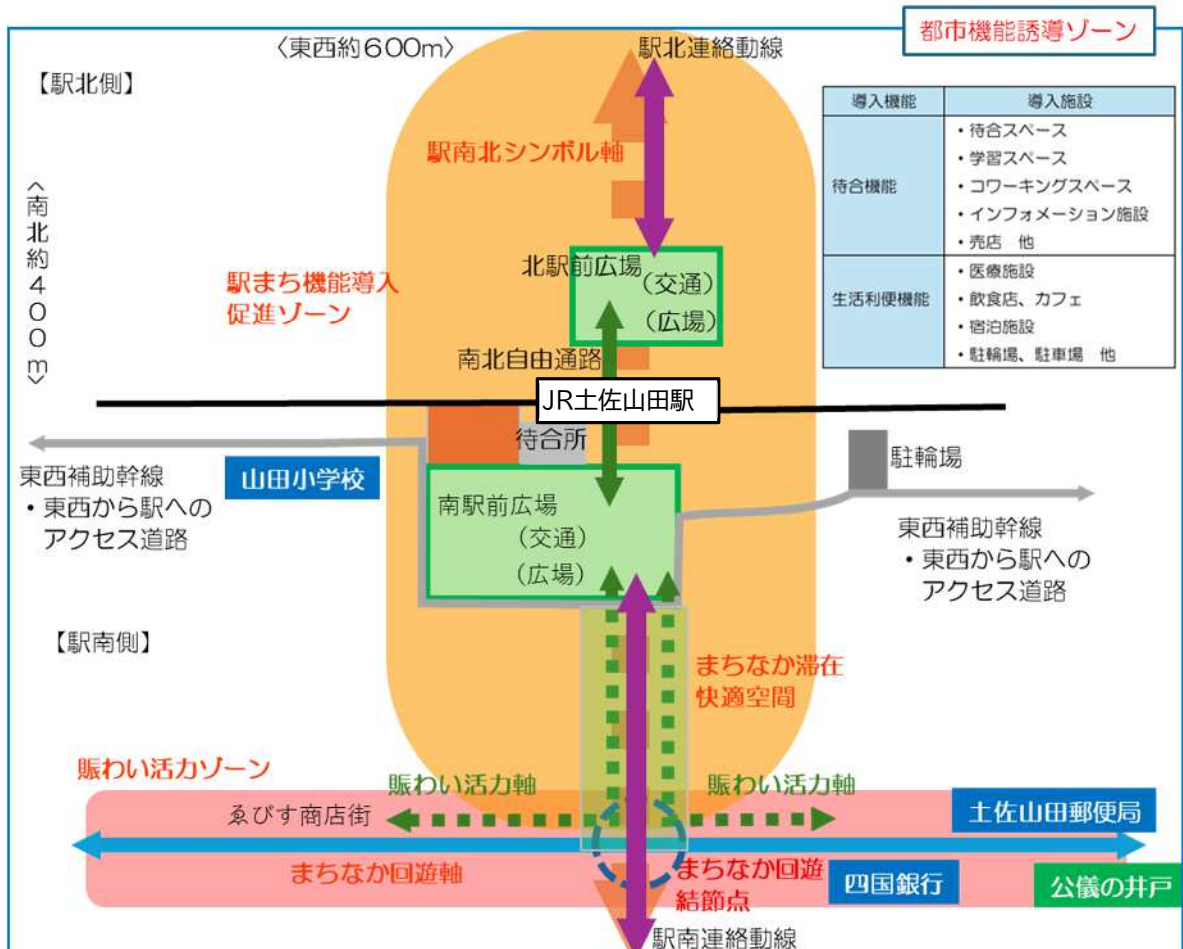
## 6. ゾーニング・ネットワーク

土佐山田駅周辺地区では駅まち機能の導入によるゾーニングとネットワーク形成により、以下の概念図のとおり再編します。

【現在の駅周辺地区】



【再編後の駅周辺地区】



■土佐山田駅周辺ゾーニング・ネットワーク図

## 7. 基本構想施設内容・規模等

■それぞれの機能毎（待合、生活利便、駅前広場、南北自由通路）の施設内容の規模を以下に整理するとおり想定します。

### 1)待合機能(設置場所:駅・駅前広場周辺)

NO	導入施設	利用対象者	施設内容	規模・機能	整備主体	管理
1-1	待合スペース (南・北)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅利用者</li> <li>・バス利用者</li> <li>・タクシー利用者</li> <li>・待合せ利用者</li> <li>・送迎者</li> </ul>	駅や駅前広場に訪れる人たちが気軽に利用できる利便性の高い待合施設を提供する。	面積 A=25 m <sup>2</sup> ・椅子 20 脚 ・Wi-Fi・電源	市とJR四国とで今後協議する	市とJR四国とで今後協議する
1-2	学習スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生</li> <li>・児童</li> <li>・通学者</li> <li>・生涯学習者</li> </ul>	鉄道利用の学生や市内の児童・学生を中心に気軽に立ち寄れる場を設け、待ち時間の有効活用や各自が思い思いの時間を過ごすことができるサード・プレイスとして、学習する場を提供する。	面積 A=25 m <sup>2</sup> ・学習机 20 台 ・Wi-Fi・電源	市とJR四国とで今後協議する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市</li> <li>・民間</li> </ul>
1-3	コワーキングスペース・フリースペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマン</li> <li>・学生</li> <li>・地域住民</li> </ul>	簡易な仕事や学習のできるワーキングスペースを設け、ビジネスパーソンや学生等の移動時間の有効活用ができる場を提供する。自由に談笑したり、サークル活動や簡易な市民活動の場を設け、学生等の移動時間の有効活用や、地域住民の簡易な会合、地域交流ができる場を提供する。また、駅前広場と一体となったイベントスペースとしても活用する。	面積 A=50 m <sup>2</sup> ・共用テーブル5台 ・椅子 20 脚	市とJR四国とで今後協議する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市</li> <li>・民間</li> </ul>
2	売店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅利用者</li> <li>・地域住民</li> </ul>	既存施設を利用し、駅利用者への飲食や地域住民を対象とする簡易な日常生活品を提供する。カフェサービスなどを追加して向上を図る。南に整備。	面積 A=100 m <sup>2</sup>	市とJR四国とで今後協議する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR四国(キオスク)</li> <li>・民間</li> </ul>
3	インフォメーション施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅利用者</li> <li>・地域住民</li> </ul>	既存施設の機能・規模を充実し、来街者の利便性向上、観光案内、地域情報の提供を行う。インバウンドを想定して多言語対応とする。南に整備。	面積 A=50 m <sup>2</sup> (実測面積)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市</li> <li>・観光協会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市</li> <li>・観光協会</li> </ul>
4	多目的トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅利用者</li> <li>・地域住民</li> </ul>	多目的トイレを導入し、授乳設備などを拡充し、駅利用者、地域住民、駅前広場の利用者などが利用する利便性の高い施設を提供する。	面積 A=80 m <sup>2</sup> (実測面積) ・南北 2 箇所	市とJR四国とで今後協議する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市</li> <li>・民間</li> </ul>

※整備主体、管理については、想定とし、今後変更される可能性があります。

2)生活利便機能(設置場所:駅・駅前広場周辺・廻びす通り商店街)

NO	導入施設	利用対象者	施設内容	規模・機能	整備主体	管理
1	夜間照明・ 足元照明	・駅利用者 ・地域住民	歩行者の夜間の安全性を確保するため、視認性に配慮した夜間照明を設け、駅周辺と商店街の夜間の回遊性を確保する。	南北駅前広場 山田停車場線 ・概ね30基	・市	・市
2-1	宿泊施設	・観光客 ・ビジネスマン ・学生	商店街の空き店舗等を活用した宿泊施設の開業を支援する。	規模未定	・市 ・民間	・民間
2-2	飲食店・カフェ	・駅利用者 ・学生 ・地域住民	既存の店舗を活用するとともに、空き店舗等を活用した飲食店・カフェの開業を支援する。	面積・店舗数未定 (出店調整)	・民間	・民間
2-3	医療施設	・駅利用者 ・学生 ・地域住民	内科、小児科等の地域ニーズに対応した医療施設の集積を支援する。	面積・店舗数未定 (出店調整)	・民間	・民間
3-1	駐車場	・駅利用者 ・学生 ・地域住民	駅周辺における駐車場、空き地を活用したコインパーキングなどを整備して、利便性の向上を支援する。	面積 A=40㎡	・市 ・民間	・市 ・民間
3-2	駐輪場	・駅利用者 ・学生 ・地域住民	駅前駐輪場の拡充や新設によりサイクルアンドライドを支援するとともに、屋根、照明施設を設け、利便性の向上を図る。	面積 A=150㎡ (実測面積) ・駐輪台数 200台	・市	・市 ・民間
3-3	カーシェア シェアサイクル	・駅利用者 ・観光客 ・学生 ・地域住民	駐車場、駐輪場の整備と併せて、カーシェア、シェアサイクルの導入を図る。	規模未定	・民間	・民間

※整備主体、管理については、想定とし、今後変更される可能性があります。

3)南駅前広場機能(設置場所:南駅前広場)

NO	導入施設	利用対象者	施設内容	規模・機能	整備主体	管理
1-1	バスバース	・駅利用者 ・地域住民	鉄道とバスの結節機能を確保するとともに、地域のバス利用者のためのバス乗降スペースを確保する。	面積 A=90 m <sup>2</sup> ・乗降 2 バース	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
1-2	バスプール	・駅利用者 ・地域住民	鉄道とバスの結節機能を確保するとともに、地域のバス利用者のためのバス駐車スペースを確保する。	面積 A=30 m <sup>2</sup> ・兼用 1 プール	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
1-3	タクシーバース	・駅利用者 ・地域住民	鉄道とタクシーの結節機能を確保するとともに、地域のタクシー利用者のためのタクシー乗降スペースを確保する。	面積 A=20 m <sup>2</sup> ・乗降 2 バース	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
1-4	タクシープール	・駅利用者 ・地域住民	鉄道とタクシーの結節機能を確保するとともに、地域のタクシー利用者のためのタクシー駐車スペースを確保する。	面積 A=30 m <sup>2</sup> ・駐車 3 プール	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
1-5	一般車バース	・駅利用者 ・地域住民	駅への送迎のための一般車両の乗降スペースを確保する。	面積 A=10~30 m <sup>2</sup> ・乗降 3 バース	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
1-6	一般車プール	・駅利用者 ・地域住民	駅への送迎のための一般車両の待機スペースを確保する。身体障害者用含む。	面積 A=40~80 m <sup>2</sup> ・駐車 4 プール	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
1-7	身障者バース	・駅利用者 ・地域住民	身体障害者のための乗降スペースを確保する。	面積 A=20 m <sup>2</sup> ・乗降 1 バース	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
1-8	身障者プール	・駅利用者 ・地域住民	身体障害者のための駐車スペースを確保する。	面積 A=20 m <sup>2</sup> ・駐車 1 プール	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
2-1	シェルター	・駅利用者	日除けや雨天のためのバス・タクシーのシェルター等を整備する。	面積 A=40 m <sup>2</sup> ・シェルター	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
2-2	案内板・サイン	・駅利用者 ・観光客	駅利用者や観光客に分かりやすい多言語対応の総合案内板及び誘導サインを整備する。	面積 A=2 m <sup>2</sup>	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
2-3	植栽	・駅利用者 ・地域住民	利用者が和め、環境に寄与するような、管理が容易な植栽を配置する。	面積 A=100 m <sup>2</sup>	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
2-4	夜間照明	・駅利用者 ・地域住民	歩行者の夜間の安全性を確保するため、視認性に配慮した夜間照明を設け、駅周辺と商店街の夜間の回遊性を確保する。	面積 A=10 m <sup>2</sup> ・20 基	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する

※整備主体、管理については、想定とし、今後変更される可能性があります。

4)北駅前広場機能(設置場所:北駅前広場)

NO	導入施設	利用対象者	施設内容	規模・機能	整備主体	管理
1-1	バスバース	・駅利用者 ・地域住民	鉄道とバスの結節機能を確保するとともに、地域のバス利用者のためのバス乗降・待機スペースを確保する。	面積 A=30 m <sup>2</sup> ・乗降 1 バース	・市	・市
1-2	タクシーバース	・駅利用者 ・地域住民	鉄道とタクシーの結節機能を確保するとともに、地域のタクシー利用者のためのタクシー乗降スペースを確保する。	面積 A=20 m <sup>2</sup> ・乗降 2 バース	・市	・市
1-3	一般車バース	・駅利用者 ・地域住民	駅への送迎のための一般車両の乗降・待機スペースを確保する。	面積 A=20 m <sup>2</sup> ・乗降 2 バース	・市	・市
1-4	タクシープール 兼一般車プール	・駅利用者 ・地域住民	鉄道とタクシーの結節機能を確保するとともに、地域のタクシー利用者のためのタクシー待機スペースを確保する。また、タクシー不在の際は一般車プールとして運用する。	面積 A=80 m <sup>2</sup> ・待機 4 プール	・市	・市
1-5	身障者車バース	・駅利用者 ・地域住民	身体障害者のための乗降スペースを確保する。	面積 A=25 m <sup>2</sup> ・乗降 1 バース	・市	・市
2-1	多目的トイレ	・駅利用者 ・地域住民	多目的トイレを導入し、授乳設備などを拡充し、駅利用者、地域住民、駅前広場の利用者などが利用する利便性の高い施設を提供する。	面積 A=40 m <sup>2</sup> (実測面積)	・市	・市
2-2	シェルター	・駅利用者	日除けや雨天のためのバス・タクシーのシェルター等を整備する。	面積 A=40 m <sup>2</sup> ・シェルター	・市	・市
2-3	案内板・サイン	・駅利用者 ・地域住民	駅利用者や観光客に分かりやすい多言語対応の総合案内板及び誘導サインを整備する。	面積 A=2 m <sup>2</sup>	・市	・市
2-4	植栽	・駅利用者 ・地域住民	利用者が和め、環境に寄与するような、管理が容易な植栽を配置する。	面積 A=100 m <sup>2</sup>	・市 ・市民 ・民間	・市 ・市民 ・民間
2-5	夜間照明	・駅利用者 ・地域住民	歩行者の夜間の安全性を確保するため、視認性に配慮した夜間照明を設け、駅周辺と商店街の夜間の回遊性を確保する。	面積 A=5 m <sup>2</sup> ・10 基	・市	・市

※整備主体、管理については、想定とし、今後変更される可能性があります。

5)南北連絡機能(設置場所:南北自由通路)

NO	導入施設	利用対象者	施設内容	規模・機能	整備主体	管理
1	自由通路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅利用者</li> <li>・ 地域住民</li> </ul>	土佐山田駅の南北駅前広場を連絡する歩行者・自転車が通行可能な自由通路を整備する。	延長 L=40m 幅員 W=4m ・ 誘導ブロック	・ 市	・ 市
2	多目的エレベーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅利用者</li> <li>・ 地域住民</li> </ul>	車椅子、高齢者等のバリアフリーに対応するとともに、自転車等の利用も見込んだ多目的エレベーターを設置する。 設置箇所は南北駅前広場及び土佐山田駅 2 番ホームへの対応を見込み調整を行う。	面積 A=30 m <sup>2</sup> ・ エレベーター3 基 (北・南・駅ホーム)	市と J R 四国とで今後協議する	市と J R 四国とで今後協議する

※整備主体、管理については、想定とし、今後変更される可能性があります。



JR 土佐山田駅構内（現況）

■都市計画決定されているそれぞれの施設について、以下に整理するとおりとします。

### 6)都市計画の見直し方針

NO	施設名	都市計画見直しの考え方
1	本町駅前線	南駅前広場のアクセス道路を1路線に絞って交通の錯綜を回避するため、同路線を廃止する。
2	山田駅前線	南駅前広場のアクセス道路であり、土佐山田駅から市役所に至るシンボル道路として高質化の整備を推進する。現況幅員12mで暫定整備されており、完成に向け歩道部の整備を推進するとともに、歩いて楽しいまちづくりの一環として、十分な歩道幅員を確保するため道路幅員構成の見直しを行う。
3	宮前秋月丸線	南駅前広場のアクセス道路であり、土佐山田駅から泰山公園に至る歩行者ネットワーク機能と合わせ整備を推進する。
4	南駅前広場	必要な施設規模に応じ、現行の都市計画決定面積の縮小を調整し、南駅前広場の整備を促進する。
5	北駅前広場	土佐山田駅の新たな北口エントランスとして南北連絡自由通路の整備と併せて、北駅前広場の整備を推進する。

### 7)都市計画道路・駅前広場

NO	導入施設	利用対象者	整備内容	規模・機能	整備主体	管理
1	本町駅前線	—	南駅前広場にアクセスする本町駅前線については、整備の実現性を考慮して廃止する。	延長 L=100m 幅員 W=12m	・市	・市
2	山田駅前線	・駅利用者 ・地域住民	山田駅前線の南駅前広場から糸びす通りまでの区間については、歩いて楽しいまちづくりの視点から歩道を拡幅し高質化舗装を行う。	延長 L=115m 幅員 W=15m	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
3	宮前秋月丸線	・駅利用者 ・地域住民	道路整備を推進するとともに、北駅前広場から高知山田線までの区間については、歩いて楽しいまちづくりの視点から歩道の高質化舗装を行う。	延長 L=90m 幅員 W=14m	・市	・市
4	南駅前広場	・駅利用者 ・地域住民	必要な機能を充足させつつ、周辺道路への影響、移転家屋の減少に向けて、西側、南側境界をできないか検討する。	面積 A=3800 m <sup>2</sup> から縮小できない か検討していく	市と県とで 今後協議する	市と県とで 今後協議する
5	北駅前広場	・駅利用者 ・地域住民	現都市計画面積において、必要な交通機能を充足できるため、変更はしない。	面積 A=1,800 m <sup>2</sup> (現都決面積)	・市	・市

※整備主体、管理については、想定とし、今後変更される可能性があります。

※都市計画における具体の道路幅員や面積等については、地域ニーズ等を勘案しながら、今後、基本計画を策定していく中で検討します。

## 8)関連区画道路

NO	付替え道路	利用対象者	利用形態	規模・機能	整備主体	管理
1	山田小北通り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅利用者</li> <li>・ 地域住民</li> <li>・ 通過交通</li> </ul>	駅前広場整備に伴う現道の機能回復。	延長 L=80m 幅員 W=6m	・ 市	・ 市
2	山田駅百石通線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅利用者</li> <li>・ 地域住民</li> <li>・ 通過交通</li> </ul>	駅前広場整備に伴う現道の機能回復。	延長 L=30m 幅員 W=6m	・ 市	・ 市

※整備主体、管理については、想定とし、今後変更される可能性があります。

※付替え道路は、駅前広場用地の所有区分により、ルート変更の可能性があります。

※都市計画における具体の道路幅員や面積等については、地域ニーズ等を勘案しながら、今後、基本計画を策定していく中で検討します。

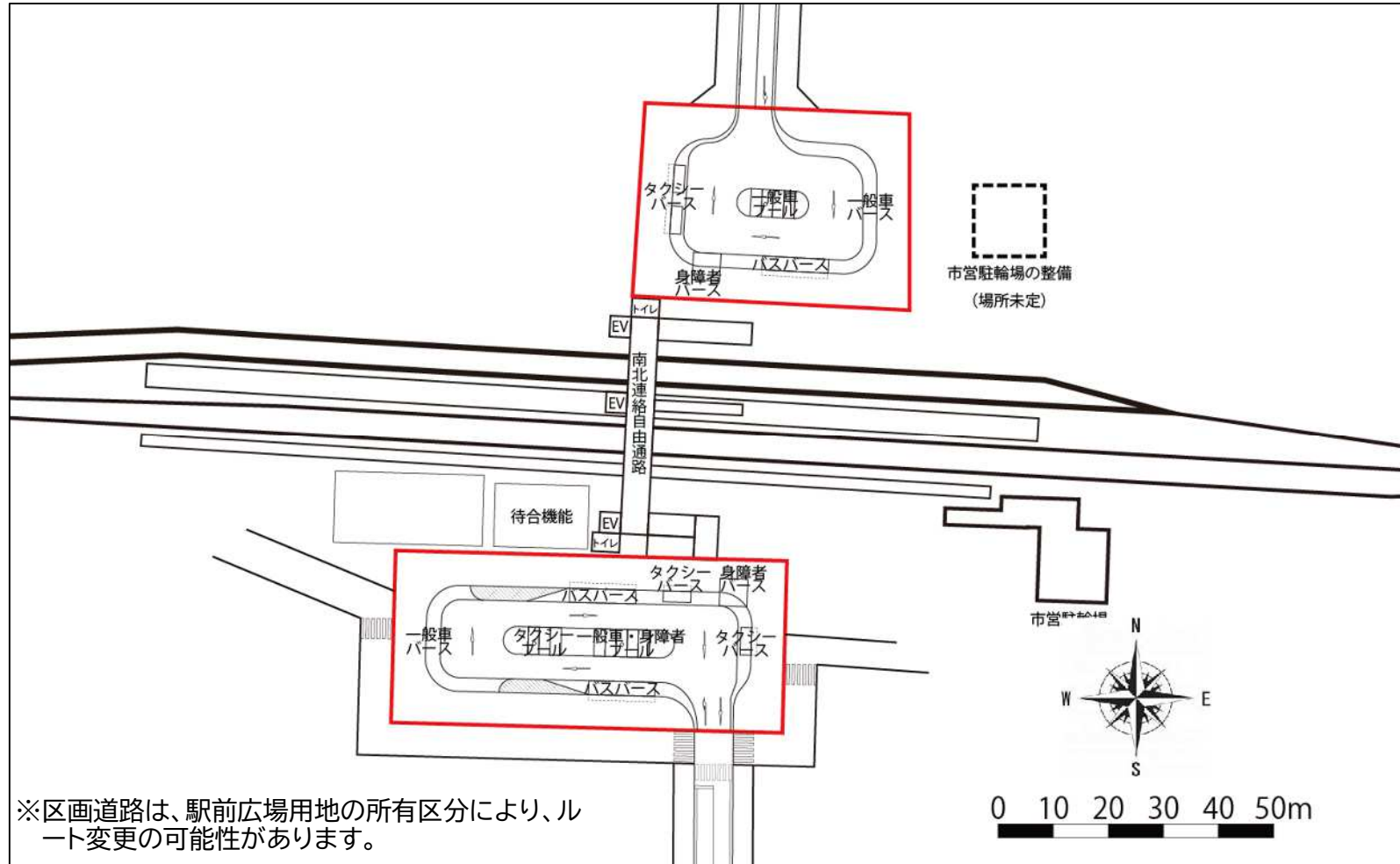


山田駅前線（から駅方向を望む）

## 8. 基本構想図

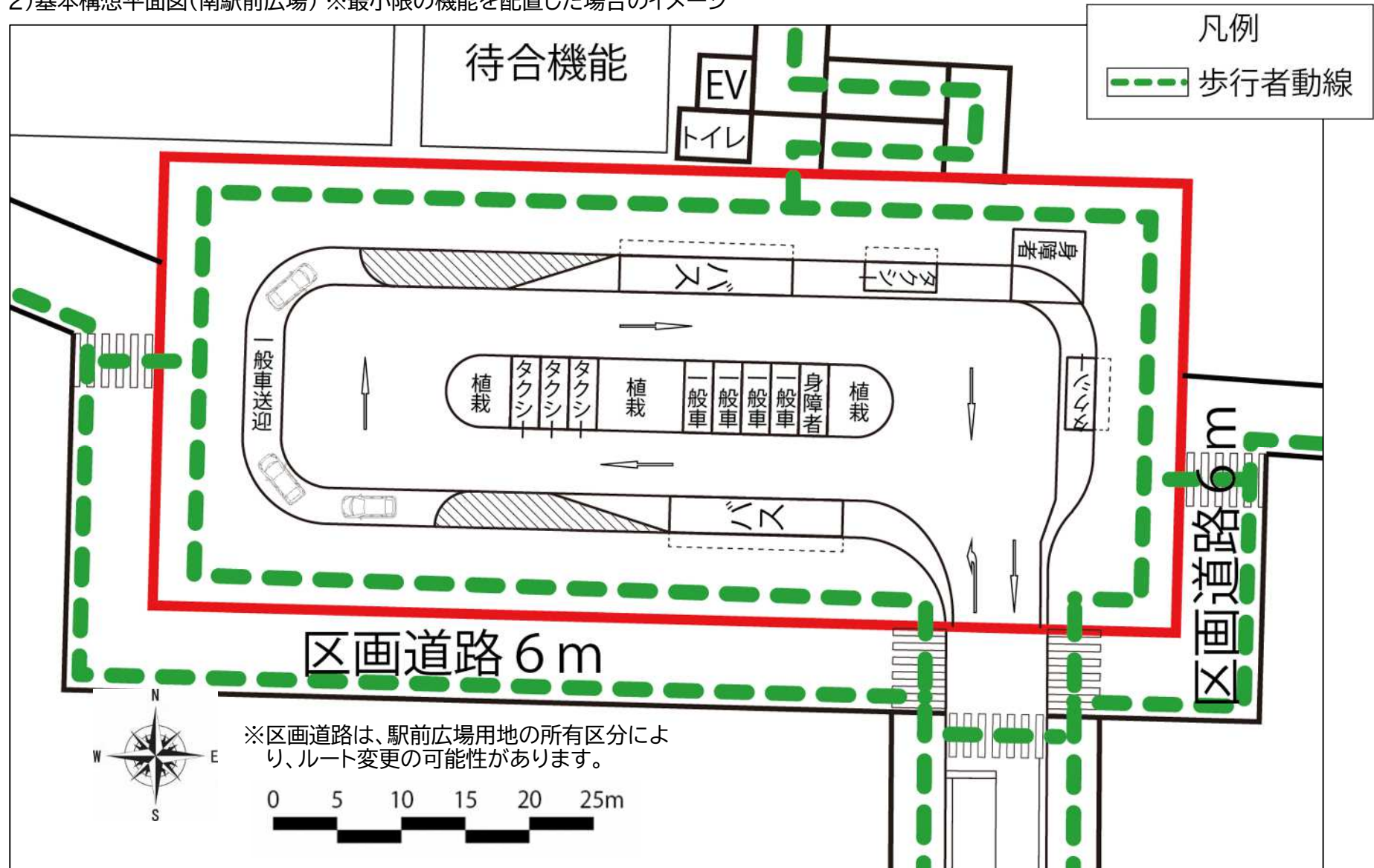
基本構想図（案）は、導入機能・導入施設等を基に必要な施設規模の設定を行い、駅前広場整備の方向性を示したものです。

### 1) 基本構想平面図(全体)



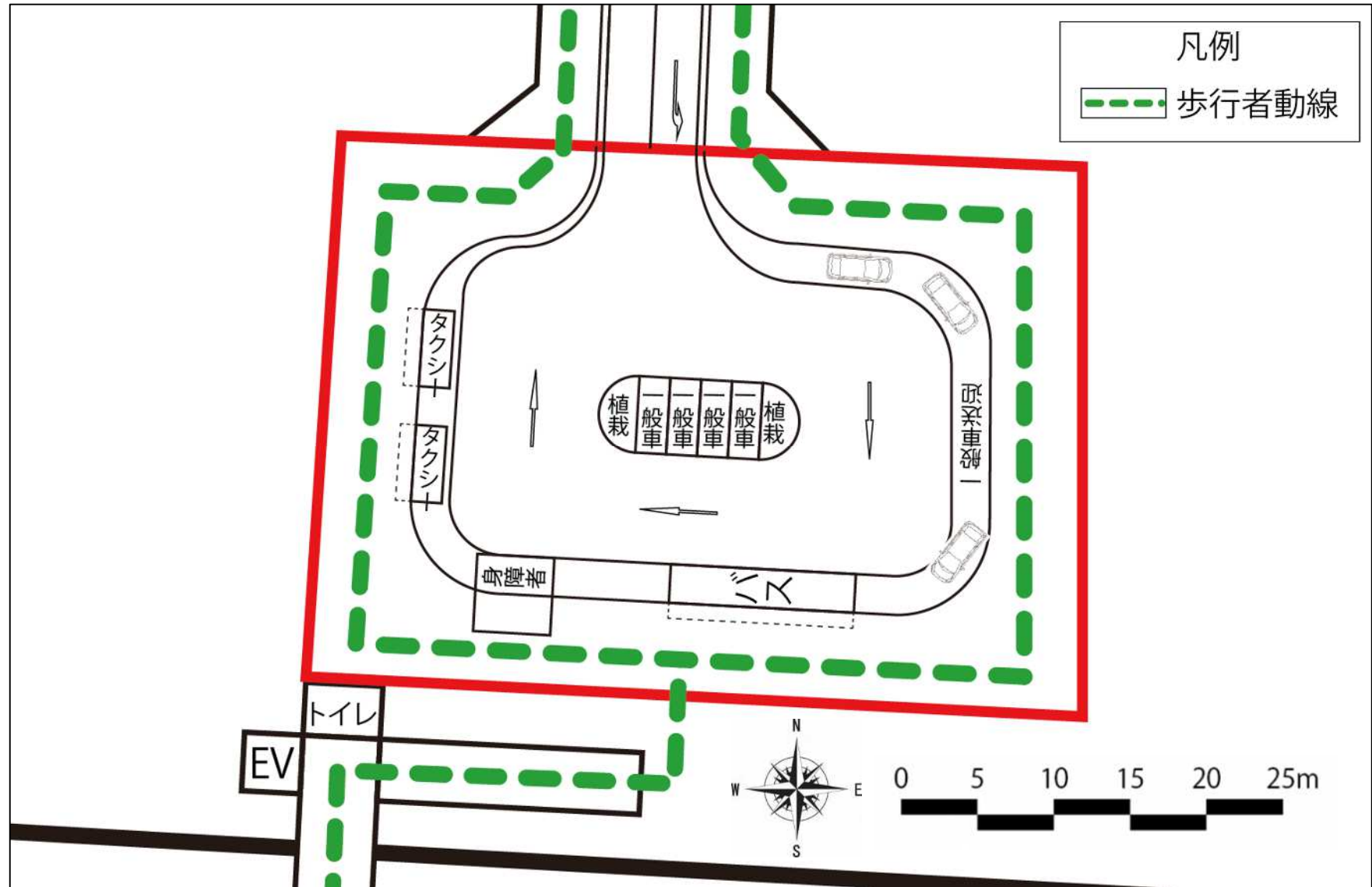
※この「基本構想平面図」については、全体の概ねの施設配置を示しており、全ての施設が記載されたものではありません。  
※都市計画における具体的な道路幅員や面積等については、地域ニーズ等を勘案しながら、今後、基本計画を策定していく中で検討します。

2)基本構想平面図(南駅前広場) ※最小限の機能を配置した場合のイメージ



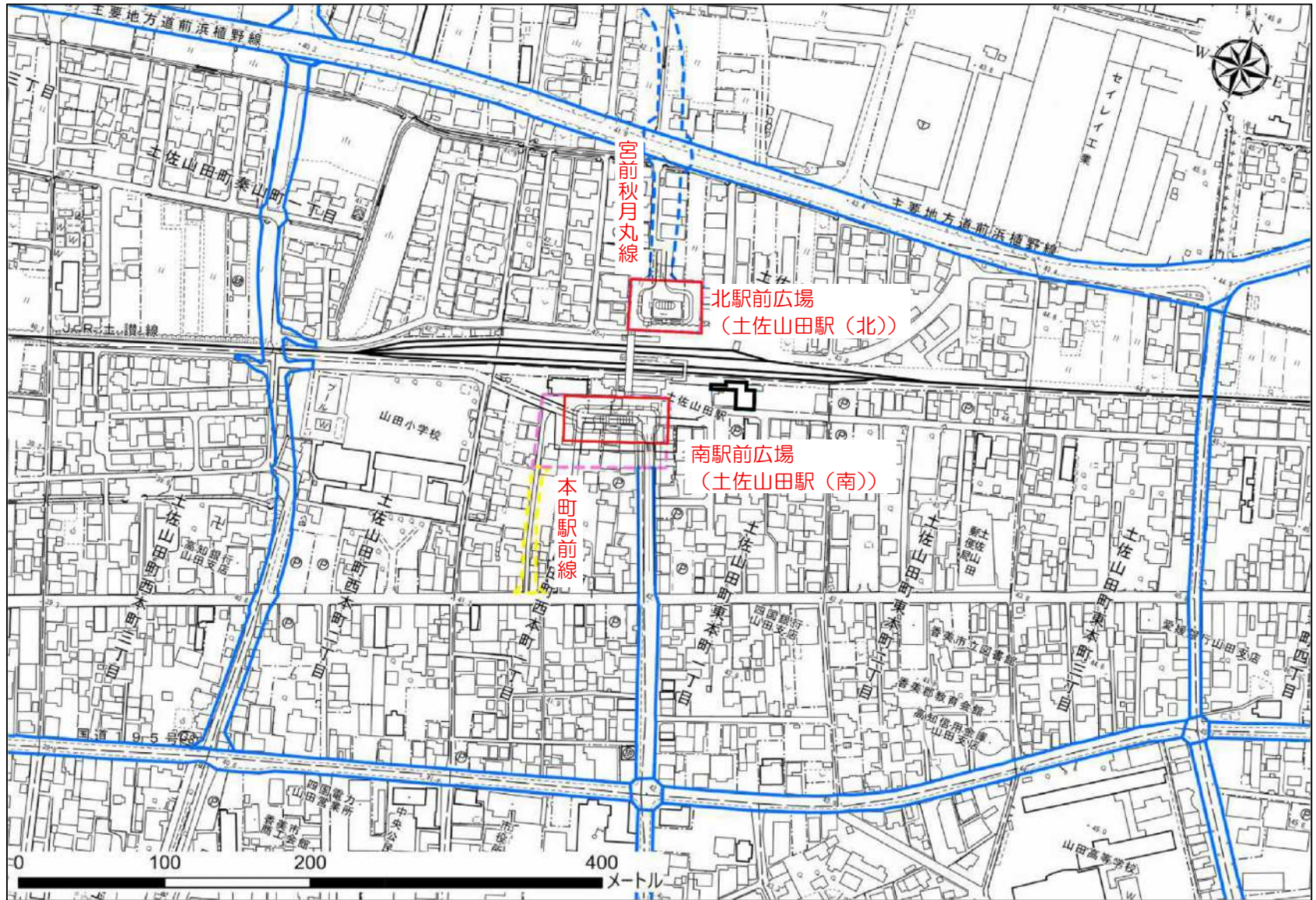
※この「基本構想平面図」については、全体の概ねの施設配置を示しており、全ての施設が記載されたものではありません。  
 ※都市計画における具体的な道路幅員や面積等については、地域ニーズ等を勘案しながら、今後、基本計画を策定していく中で検討します。

3)基本構想平面図(北駅前広場) ※最小限の機能を配置した場合のイメージ



※この「基本構想平面図」については、全体の概ねの施設配置を示しており、全ての施設が記載されたものではありません。  
 ※都市計画における具体的な道路幅員や面積等については、地域ニーズ等を勘案しながら、今後、基本計画を策定していく中で検討します。

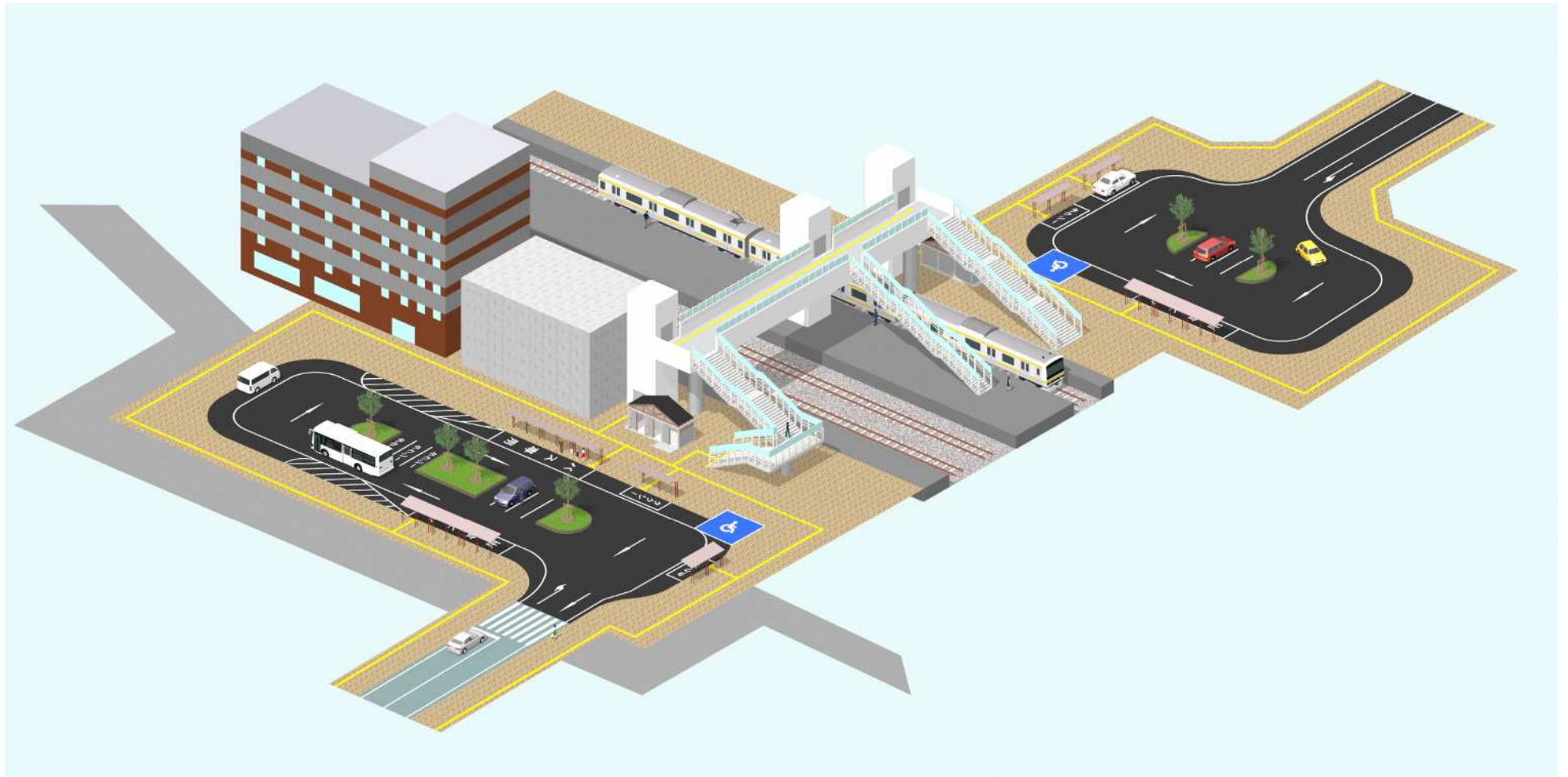
#### 4)基本構想位置図



※都市計画における具体的な道路幅員や面積等については、地域ニーズ等を勘案しながら、今後、基本計画を策定していく中で検討します。

## 9. イメージパース

基本構想イメージパースは下図のとおりです。※最小限の機能を配置した場合のイメージ



※この「基本構想イメージパース」については、全体の概ねの施設配置を示しており、全ての施設が記載されたものではありません。  
※都市計画における具体的な道路幅員や面積等については、地域ニーズ等を勘案しながら、今後、基本計画を策定していく中で検討します。

**JR土佐山田駅周辺まちづくり基本構想**

**概要版**

令和8年3月

発行 高知県香美市建設課  
〒782-8501 高知県香美市土佐山田町宝町1丁目2番1号  
TEL :0887-53-3119  
FAX:0887-53-1389